

英語Ⅱ (English Ⅱ)	2 年・通年・3 単位・必修 電気、電子制御、情報、物質化学工学科・ 担当 前田 哲宏	
〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕 (3)		
<p>〔講義の目的〕</p> <p>「読む・書く・話す・聞く」の 4 技能を総合的に学習し、1 年次に身に付けた基礎的な文法、構文の学力に基づいて、発展的に発話力や読解力や作文力や語彙力を身につけることを目的とする。国際社会で交流する際に必要な、外国の歴史や文化や考え方に対する理解も更に一層深まるように指導したい。</p>		
<p>〔講義の概要〕</p> <p>教材毎に、精読、速読、コミュニケーションに重点を置いて指導するが、文法力や作文力や発話力の更なる育成を目指す。精読では、文法や構文に留意して正確な英文解釈、内容把握をさせる。速読では、英語の流れに従って、短時間に正確にポイントを把握させる。コミュニケーションでは、積極的に英語を運用させる。</p>		
<p>〔履修上の留意点〕</p> <p>新出単語・連語は必ず予習すること。各レッスンのまとめにある文法事項を理解し、作文できるようにすること。毎週実施される単語テストは語彙力をつけるために必要であるので真剣に取り組むこと。</p>		
<p>〔到達目標〕</p> <p>各レッスンの内容把握を深めるために、新出文法事項を理解し、運用できるようにしたり、新出単語や熟語の定着を図るように指導する。</p> <p>前期中間試験：Lesson 1～Lesson 2 ①It の用法(1)②have/get+目的語+過去分詞 ③受動態[群動詞] ④受け身の動名詞</p> <p>前期末試験：Lesson3～Lesson 5 ①複合関係詞②関係副詞[非制限用法]③仮定法④無生物主語⑤強調構文</p> <p>後期中間試験：Lesson6～Lesson 7 ①動名詞 ②不定詞(1) ③関係代名詞(1)④語順・同格</p> <p>学年末試験：Lesson8～Lesson 10 ①There 構文②関係代名詞(2)③倒置④不定詞(2)⑤省略⑥関係代名詞(3)⑦分詞構文</p>		
<p>〔評価方法〕</p> <p>定期試験成績 60%, 小テスト 20%, 課題、授業態度点(発言の優劣や回数)20% (合計 100%)</p>		
<p>〔教科書〕</p> <p>Genius English Communication II (大脩館書店)</p> <p>〔補助教材・参考書〕</p> <p>Word-Meister 英単語・熟語 4500 (第一学習社)(1 年時に購入済)</p> <p>総合英語 Forest (フォレスト) (桐原書店)</p>		
<p>〔関連科目〕</p> <p>英語Ⅰと英文読解Ⅰに関連するが、テレビやインターネットや新聞雑誌等の英語に関する情報や未知の単語や表現に一層注意を払いながら、自分の英語の学力や発話力を絶えず brush up するように努めてほしい。</p>		

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己 評価＊
第 1 週	ガイダンス、Lesson 1 Hanamizuki	日米交流の架け橋としてやってきたハナミズキ。今日も平和を 願いながら咲き誇る。It の用法(1)[It seems that~, It takes / costs~]。have/get+目的語+過去分詞。	
第 2 週			
第 3 週			
第 4 週	Lesson2 Learning Language, Learning Self	外国語を学ぶことはその背景にある文化も含めて学ぶこと。受 動態[群動詞, It's said/believed~, get +過去分詞]。受け身の受 動態[being+過去分詞]	
第 5 週			
第 6 週			
第 7 週	Lesson 3 Nature	自然からヒントを得て、より地球に優しい技術が生まれ	
第 8 週	前期中間試験		
第 9 週	Technology	る。複合関係詞[複合関係代名詞, 複合関係形容詞, 複合関係副 詞]。関係副詞[非制限用法]。	
第 10 週			
第 11 週	Lesson 4 Ahmed's Gift of Life	子供を失った父親は意外な方法で戦争に NO を突きつけた。 仮定法[I wish~, as if~, were to~, if S should~, if it were not for~, if it had not been for~]。	
第 12 週			
第 13 週			
第 14 週	Lesson 5 The World of Miyazawa Kenji is Our World	宮沢賢治が 21 世紀の私達につたえようとしていることとは。 無生物主語。It の用法(2)[強調構文]。	
第 15 週			
前期期末試験			
第 16 週	Lesson 5		
第 17 週	Lesson 6 Machu Picchu: City in the Clouds	マチュピチュは何のために作られたのか。謎を解くカギが近年 明らかに。動名詞[having+過去分詞。不定詞(1)[to have+過去 分詞]。	
第 18 週			
第 19 週			
第 20 週	Lesson 7 Paul Klee: A Musical Painter	バウル・クレーは絵画と音楽の融合を目指していた。関係代名 詞(1)[関係代名詞+I think など, what の慣用表現]。語順・同 格。	
第 21 週			
第 22 週	後期中間試験		
第 23 週	Lesson 8 Emotions Gone Wild	動物も人間と同じように複雑な感情を持っているのだろうか。 There 構文[There+be 以外の動詞]。関係代名詞(2)[二重 限定]。	
第 24 週			
第 25 週			
第 26 週	Lesson 9 Michael J. Sandel on Kant: Freedom and Morality	サンデル教授が語るカントにとっての自由と倫理とは?。倒 置。不定詞(2)[独立不定詞]。省略。	
第 27 週			
第 28 週			
第 29 週	Lesson 10 Donald Woods: Real Journalism Takes Courage	一人のジャーナリストがアパルトヘイトに立ち向かい歴史を 動かした。関係代名詞(3)[前置詞+関係代名詞, 文や節を受け る which]。分詞構文。	
第 30 週			
学年末試験			

* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった。
(達成) (達成) (達成) (達成) (達成)